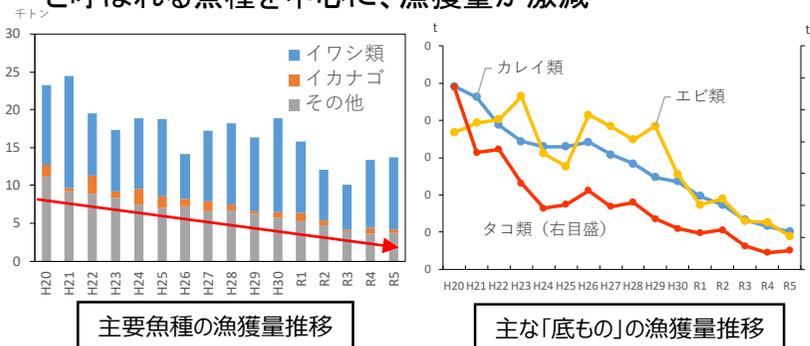
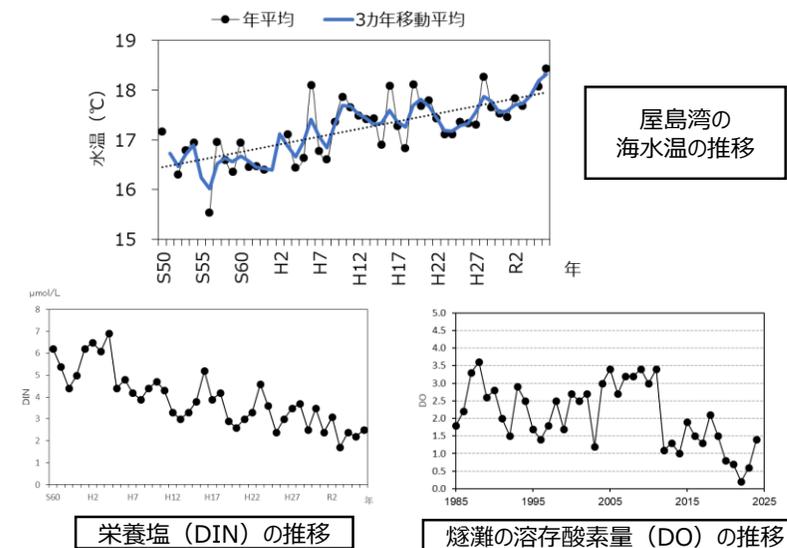


## 【現状】

○ 近年、カレイ類やエビ類、タコ類などのいわゆる「底もの」と呼ばれる魚種を中心に、漁獲量が激減



○ 水温上昇や貧栄養化など、海域環境が大きく変化しており、水産資源や養殖生産への影響が懸念



○ 赤潮の発生は減少傾向だが、依然として局所的に発生  
○ カワウやナルトビエイ等の食害生物が増加し、水産資源への影響が懸念

## 【課題】

環境変化により漁獲量が激減しており、「豊かな海づくり」が喫緊の課題  
→ さかなが育つ環境づくりを進める必要がある

- 魚介類の産卵場や育成場として重要な藻場の造成・保全
- 底生資源の回復のため、底質環境の改善が必要
- 海藻類や植物プランクトンの生長に欠かせない栄養塩類を適正な水準に増加
- 水産物や餌生物を食い荒らすカワウやナルトビエイ、磯焼けの原因となるアイゴやウニなどの対策
- 海域環境の変化やその影響を把握し、効果的な対策につなげる

## 【取組みの方向】

- 漁場環境の保全・再生・創造
  - 藻場造成・保全の推進(ハードとソフトの組み合わせ、大学等との連携)
  - 燧灘における貧酸素対策
  - 漁場保全活動の促進(海底耕うん、人工産卵床設置、海ごみ回収など)
- 漁場環境の調査・監視
  - デジタル技術等を用いた海域環境調査の強化
  - 赤潮、貝毒の発生監視
  - 海底の餌料環境調査(底質・底生生物)
- 適切な栄養塩類の管理
  - 栄養塩類管理の効果検証、効果的な添加技術の検討
- 有害生物等による漁業被害対策
  - カワウ、ナルトビエイ等の食害対策
  - 磯焼けの原因となるウニ、アイゴ等の食害対策
  - 特定疾病、魚病検査



アマモ場とアオリイカの卵



捕獲したナルトビエイ

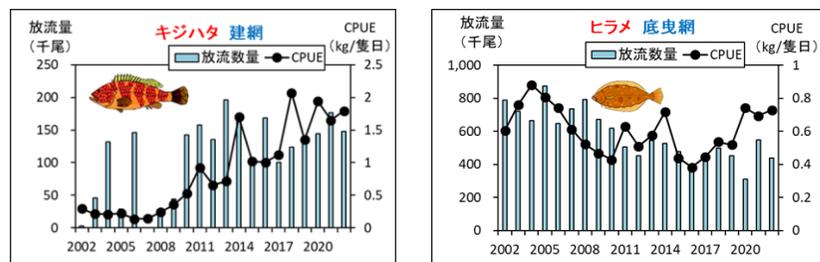
## 2 資源を積極的に増やす取組み

### 【現状】

○本県では、栽培漁業基本計画に基づき効果的な種苗生産・放流を推進

- ・クルマエビ、ヒラメ、キジハタ、タケノコメバルを放流用種苗として生産・供給
- ・このほか、ガザミやメバルについても他県と種苗交換により調達、供給
- ・市町や漁業関係団体等が実施する種苗放流事業を支援

○これらの取組みにより、水産資源を底支えしている状況



放流対象種の放流数量推移と資源状況

○本県漁業にとって重要な魚種であり、漁獲量が減少しているタイラギやマダコ・イイダコ、ナマコなどの種苗生産技術の開発に取り組んでいる



タイラギ



イイダコ

### 【課題】

多くの資源が減少する中、豊かな海づくりのためには、漁場の整備とあわせて資源を積極的に増やす取組みがより一層重要

#### ○ 海域環境の変化やニーズの変化への対応

- ・新たな魚種の種苗生産(技術開発と事業化に向けた検討)
- ・効果的な放流手法の検討・普及

#### ○ 種苗の安定生産に向けた課題

- ・種苗生産施設の老朽化 → 疾病の発生防止、清浄な飼育水の確保
  - ・温暖化により飼育環境が悪化
  - ・光熱費や餌代が高騰
  - ・ニーズが多様化
- コスト削減、生産効率の向上が必要

### 【取組みの方向】

#### ○ ニーズを踏まえた種苗の供給

- ・放流種苗の安定生産
- ・新たな魚種の生産技術開発(マダコ、コウライアカシタビラメなど)
- ・近隣県との広域連携(種苗交換、共同種苗生産)
- ・種苗生産施設の機能強化
- ・AIやIoTを利用した効率的な種苗生産技術の開発(大学等との連携)

#### ○ 効果的な種苗放流の促進

- ・市町等による種苗放流事業への支援
- ・デジタル技術等を用いた放流効果の検証、放流手法の改良(大学等との連携)
- ・効率的な種苗輸送方法の検討

### 3 資源の持続的利用

#### 【現状】

##### ○ 資源管理の状況

- 本県では、漁獲サイズの制限や休漁日の設定など、漁業者の自主的な取り組みを中心に資源管理を推進
- 令和2年に施行された新漁業法に基づき、水産庁は漁獲量可能量(TAC)管理を基本とする方針
- 本県では、既存の4魚種※1のほか、6魚種※2が新たな候補種となっており、このうちカタクチイワシは段階的な導入が開始
- また、適切な資源管理のため、漁業者による漁獲報告が義務化されている(8市場がデジタル化に対応)

※1 サバ類、マイワシ、マアジ、クロマグロ

※2 カタクチイワシ、サワラ、トラフグ、イカナゴ、マダイ、ヒラメ

##### ○ 漁場利用の状況

- 本県海域では多種多様な漁業が操業(底びき網、さし網、定置網、魚類・藻類・貝類養殖など)
- 漁業者の減少に伴い、漁場利用が低下している一方で、漁業操業時のトラブルは依然発生
- SNSの普及等により、遊漁をめぐるトラブルが深刻化
- 漁業違反は減少しているが、漁業者以外の違反の割合が増加傾向
- 漁業操業中の事故は減ってきているが、痛ましい死亡事故は後を絶たない

#### 【課題】

##### ○ 資源管理について

- 水産資源は再生可能な資源であり、持続的な利用のためには適切な資源管理が極めて重要
- TAC管理を基本とする新漁業法に対応していくため、本県の漁業実態に即した資源管理体制の構築が必要

- 漁獲量等の状況の的確な把握
- 資源の状態や生態的特性等の調査



最新の科学的知見を踏まえた効果的な資源管理を推進

##### ○ 漁場利用について

- 漁業秩序を維持しつつ、漁場の有効利用を図る必要(海洋環境の変化に対応した、柔軟な許可・漁業権の運用)
- 漁業と海洋レクリエーションとの調和を図る必要がある(資源管理の取組みへの遊漁者の参加が課題)



イワゴ資源保護のチラシ

#### 【取組みの方向】

##### ○ 科学的知見に基づく資源管理の推進

- 資源の状況や生態特性の調査、資源変動要因の解明に向けた調査研究
- 漁業者の理解を得ながらTAC管理の円滑な導入
- 漁業者の自主的な資源管理の取組みの促進
- 効率的な漁獲報告体制の整備(デジタル化の促進など)
- 遊漁者の資源管理への参画促進

##### ○ 円滑な水面利用の推進

- 漁業秩序の維持、密漁対策(指導・取締)
- 漁業調整による漁場の総合利用(漁場再編、漁期の見直しなど)
- 遊漁との水面利用調整(普及啓発、ルール作り、関係者協議の促進)
- 操業安全対策(救命胴衣の着用推進、講習会の開催など)

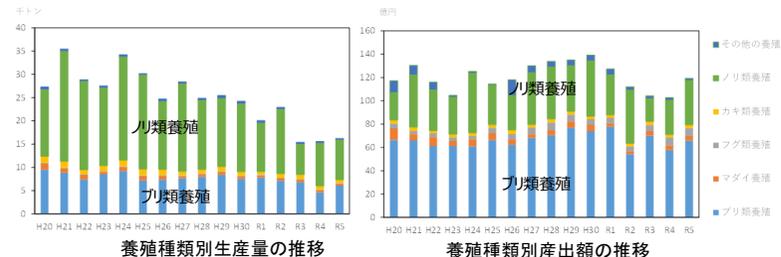


サワラの資源調査(生物測定)

# 4 養殖業の生産振興

## 【現状】

◇海面養殖の生産量はノリ養殖が多くを占め、減少傾向  
 産出額はブリ類養殖が多くを占め、概ね一定水準で推移



### 1. 魚類養殖

◇生餌や配合飼料の価格が益々高騰し経営がひっ迫  
 ◇ブリ類養殖では、他県産種苗に依存しており、R3に全国的な種苗不足が発生、以後も種苗価格が高止まり  
 ◇オリーブハマチ、オリーブマダイ、オリーブサーモンなどの魅力ある養殖水産物づくりに取り組んできた。



### 2. 藻類養殖

◇全国的な不作により近年ノリの単価が上昇しているものの、栄養塩類不足による色落ち、海水温の上昇による食害の活発化により生産量の減少が続いている

### 3. 貝類養殖

◇県内では、志度湾や多度津沖などでカキの垂下式養殖が定着  
 ◇年間を通じた安定出荷や品質向上等が期待できる新たな手法として三倍体のシングルシード種苗を用いたバスケット方式によるカキ養殖が拡大している

## 【課題】

### 1. 魚類養殖

- 種苗や生餌の供給が不安定 → なるべく安価に安定確保
- ブランド魚がひしめく中、産地間競争が激化

→本県の特徴を生かした「売れる商品づくり」、海外市場も視野に入れた新たな販路開拓、生産性の向上により競争力を強化

- 高成長で商品化率の高いサーモン種苗の開発

### 2. 藻類養殖

- より効果的な食害対策及び色落ち対策
- 多額の更新費用が必要となる施設の共同化等の検討

### 3. 貝類養殖

- 海域条件に応じた適切な管理手法の検討
- 三倍体種苗の安定確保
- カキ剥きの際に大量に発生するカキ殻の処分や有効活用



## 【取組みの方向】

### (1) 魚類養殖業の振興

- ・ 生餌及び優良な種苗の安定確保
- ・ オリーブ水産物等の生産振興
- ・ 優良なサーモン種苗の開発 (全雌化)
- ・ 防疫対策 (魚病検査等)



### (2) 藻類養殖業の振興

- ・ ノリの色落ち対策 (適切な栄養塩類管理、栄養塩類添加技術の開発)
- ・ ノリの食害対策 (防除網の改良、新たな対策手法の検討)
- ・ 協業化や施設の共同利用の促進

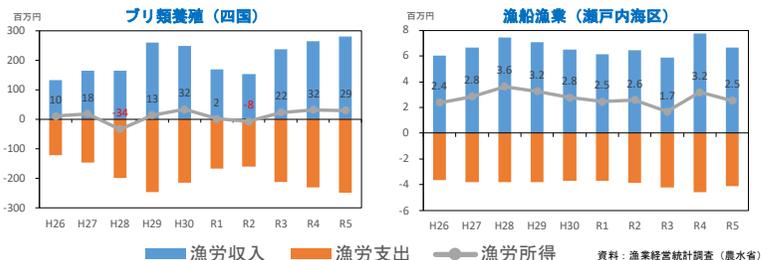
### (3) 貝類養殖業の振興

- ・ カキ養殖の生産振興 (シングルシード種苗を用いたバスケット方式の普及等)
- ・ カキ殻の有効利用方法の検討
- ・ 貝毒発生監視、防疫対策

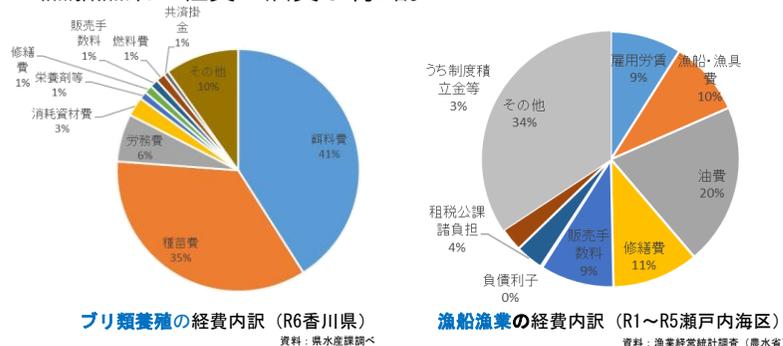
# 5 収益性向上と経営安定対策

## 【現状】

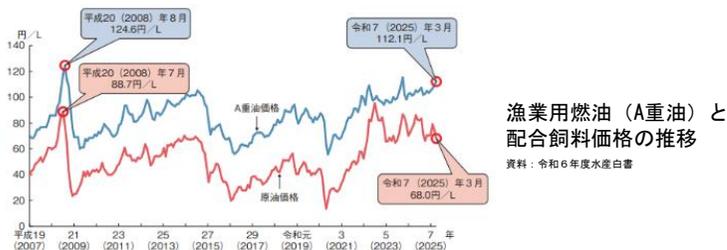
- ブリ養殖は漁ろう支出の変動が大きく、漁船漁業は漁ろう収入（水揚げ高）の変動が大きい



- ブリ類養殖の経費：餌料費が約4割、種苗費が約3割
- 漁船漁業の経費：油費が約2割



- 漁業用燃油や飼料価格等の高騰により経費が増加



- アカエイやクロダイは漁獲対象となるが、十分に利用されておらず低価格

平均単価 (R4-6) ※高松中央卸売市場 データより	クロダイ	エイ	マダイ
	294円/kg	137円/kg	509円/kg

## 【課題】

### ● 水産物の付加価値向上

生産量が減少する中、漁業所得向上のためには、水産物の価値を高めることが重要

- 消費者ニーズを的確に把握し、水産物の品質向上や加工技術の開発取り組むとともに、効果的にブランド化を推進することが重要
- 十分に活用されていない隠れた地魚（低利用魚）の有効活用が課題

### ● 生産性・収益性を高める技術開発

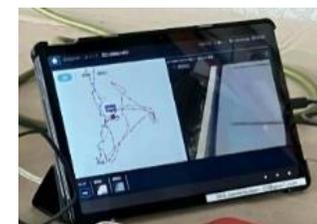
- ICTやIoT、AIなどのデジタル技術を活用した作業の効率化・省力化（スマート化）
- 新たな漁業・養殖技術の開発

### ● 漁業経営の安定化

- 漁業共済や収入安定対策事業、セーフティーネット対策などの制度利用を促進
- 漁業者によるコスト削減や収益向上、協業化等の促進



小豆島 島鯉



パッチ網漁におけるリモートシステム

## 【取組みの方向】

### ● 水産物の付加価値向上

- ・ 隠れた地魚（低利用魚）の有効活用
- ・ 冷凍・加工、品質向上技術の開発
- ・ 効果的なブランド化の推進（おいしさや栄養成分の見える化等）

### ● イノベーションの創出

- ・ スマート水産業の推進
- ・ 新たな漁業、養殖技術の開発、実証

### ● 収入安定・コスト対策

- ・ 漁業共済や積立ふらす、セーフティーネット事業等の利用促進
- ・ 制度資金や各種支援事業の利用促進
- ・ コスト削減や収益向上の取組み支援
- ・ 共同化・協業化の推進



クロダイのフィレ加工

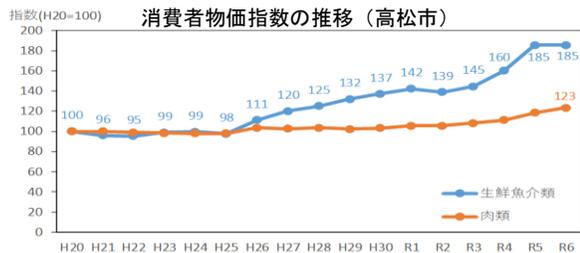


チヌ団子

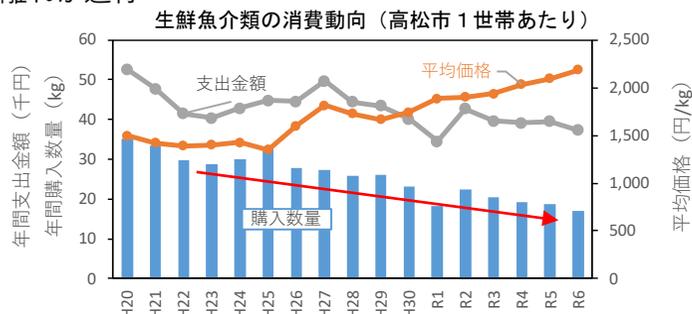
# 6 戦略的な販売・消費拡大

## 【現状】

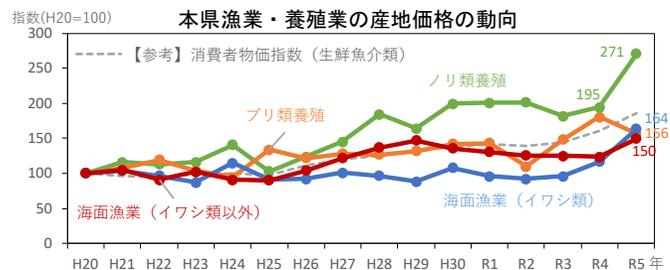
- H26以降、肉類に比べ生鮮魚介類の価格が上昇



- 生鮮魚介類の価格上昇に伴い、購入量が減少し、支出金額も減少→魚離れが進行



- 地魚 (イワシ類以外) の産地価格は、生産量の減少の割に伸び悩み→漁業者の収入増加に結び付いていない



- オリーブハマチは県内で広く認知されている一方で、大消費地における認知度は依然低い状況

香川県	関西圏	首都圏
83.7%	20.0%	11.8%

オリーブハマチの認知度 (令和6年度県産品認知度調査)

## 【課題】

- 地魚の消費拡大や販路の多様化
- インバウンドによる水産物需要の増加を捉えた県産水産物の魅力発信、観光業等との連携強化
- ブランド水産物の県外における認知度向上・販路拡大
- 輸出先のニーズに応じた生産体制の整備や販路開拓
- 料理教室や食育活動、学校給食への地魚提供を通じた魚食文化の継承・定着
- 消費者への「安全・安心でおいしい」水産物の提供



かがわの地魚を食べよう! プレゼントキャンペーン



水産料理教室

## 【取組みの方向】

- **販売促進**
  - ・ 周知資材や各種媒体での情報発信、販促イベントの開催等によるPR
  - ・ 県内外への流通業界や量販店等への働きかけ、トップセールス
  - ・ 輸出拡大に向けた体制整備、販路拡大、プロモーション
- **売れる仕組みづくり**
  - ・ 六次産業化や農商工連携の促進
  - ・ 直販・EC (ネット販売) の取組み促進
- **地産地消の推進**
  - ・ 外食産業や観光業との連携 (インバウンド需要の取り込み)
  - ・ 食育の推進 (水産料理教室、学校給食への食材提供等)
- **安全・安心の確保**
  - ・ 水産物の安全確保 (貝毒検査等)
  - ・ 適切な食品表示、生産者や産地情報の見える化の推進



SNS情報発信



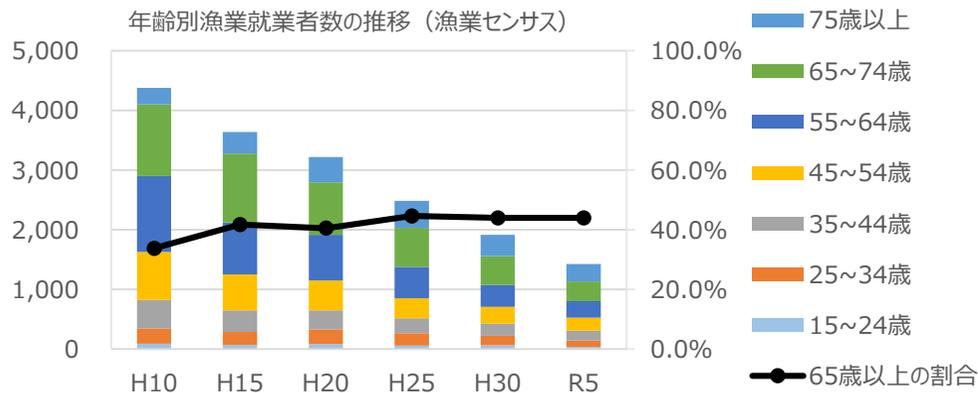
大消費地における知事によるトップセールス

## 7 漁業の担い手確保と組織強化

### 【現状】

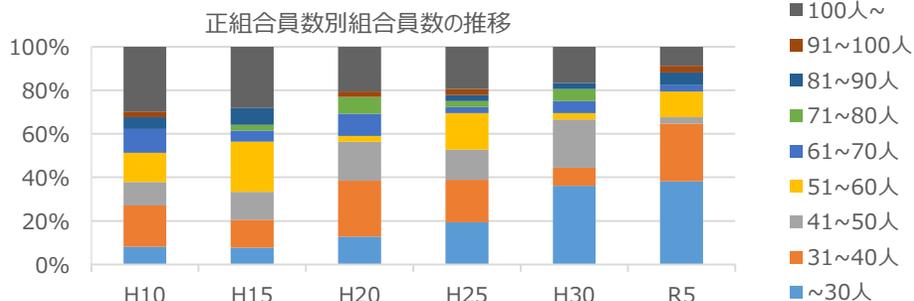
#### ○漁業就業者の状況

- ・ R5年度漁業就業者数は1913人 5年ごとに2割前後ずつ減少
- ・ 65歳以上の占める割合は44%前後で高止まり



- ・ 9割前後の経営体で後継者不在の状況が継続
- ・ 県では漁業就業相談窓口の設置、就業前研修の提供（かがわ漁業塾）、独立後の給付金制度など、就業から定着まで一貫したサポートを実施

#### ○漁業協同組合の状況



- ・ R7.4時点 県内沿海漁業協同組合数 33
- ・ R5年度正組合員数が40人以下の漁協は増加傾向で、全漁協の65%
- ・ 職員数が3人以下の組合が増加傾向で、職員が2人以下の漁協は全漁協の53%

### 【課題】

#### ○漁業就業者について

漁業就業者の減少や高齢化に歯止めがかかっておらず、さらなる対策が必要

- ・ 香川の漁業の魅力発信
- ・ 地域ぐるみでの受け入れ体制の強化
- ・ 漁業者の後継者確保の促進
- ・ 幅広い年齢層の人材の参入促進

#### ○漁業協同組合について

- ・ 組合員の減少（事業取扱量の減少）により、経営基盤の弱体化が進行  
→漁協合併等による組織の財務・経営基盤の改善が急務
- ・ 漁協職員が減少し、多様化する漁協の業務への対応が困難に  
→職員が雇用できる体制の強化や職員の確保・育成、業務効率化が必要

### 【取組みの方向】

#### (1)担い手の確保・育成

- ・ 香川の漁業の魅力発信
- ・ かがわ漁業塾の開講（年2回、周年募集）
- ・ 香川県漁業就業者確保育成センターによるマッチング支援
- ・ 新規就業者への経済的な支援
- ・ 漁家子弟（3親等以内）や中高年層（64歳まで）への就業支援

#### (2)漁協の組織強化

- ・ 漁協の合併等による経営改善の促進
- ・ デジタル化等による業務効率化の促進
- ・ 漁業現場で漁業の魅力を発信する漁協職員の確保

## 8 安全・安心な漁村づくり

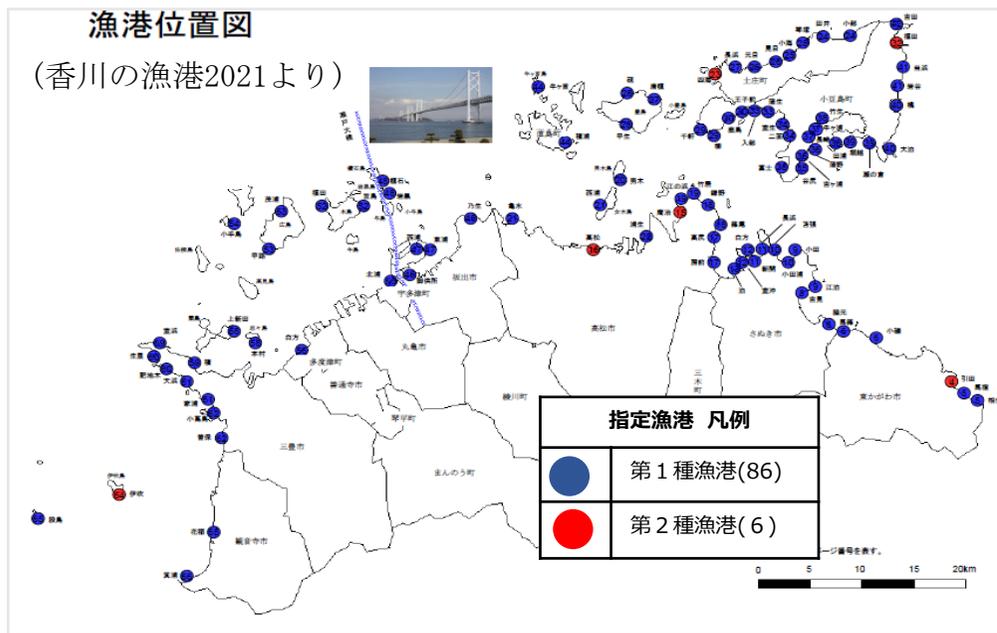
### 【現状】

#### ○漁港・漁業関連施設の状況

- ・ 漁港・漁業関連施設は築造年代が古く、老朽化が進行している
- ・ 漁港管理者が策定した機能保全計画に基づき、計画的に漁港施設の長寿命化を図っている
- ・ 国が策定した漁港漁場整備長期計画、県が策定した圏域総合水産物基盤整備事業計画に沿って、漁港の整備を推進
- ・ 利用漁船数が減少し、国庫補助事業の採択基準（50隻）に満たない漁港が73（全体の79%）（港勢調査より）

#### 漁港位置図

（香川の漁港2021より）



#### ○地震・津波対策の状況

- ・ 香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画に基づき、耐震性能調査や護岸・陸こう等の改良の実施
- ・ 漁協の組合員に対し、年1回程度、防災研修会を実施

### 【課題】

#### ○漁港・漁業関連施設について

- ・ 老朽化の進行
- 計画的に施設の長寿命化を図る必要がある



肥地木漁港 護岸の老朽化



竹居漁港 階段工崩れかけ

- ・ 漁業者の減少に伴う利用の減少
- 漁港機能の集約化、施設の有効活用の検討

#### ○地震・津波対策について

- ・ 南海トラフ地震の危険性の高まり
- 漁港・漁村における防災機能の強化、減災対策の推進



防災研修会の様子

### 【取組みの方向】

#### (1)漁港・漁業関連施設等の整備

- ・ 漁港・漁業関連施設等の維持管理、長寿命化
- ・ 利用漁船の少ない漁港の統合、有効活用

#### (2)地震・津波対策

- ・ 漁港海岸保全施設の整備
- ・ 漁村における防災研修等の推進

# 9 漁村のにぎわい創出

## 【現状】

### ○漁村の状況

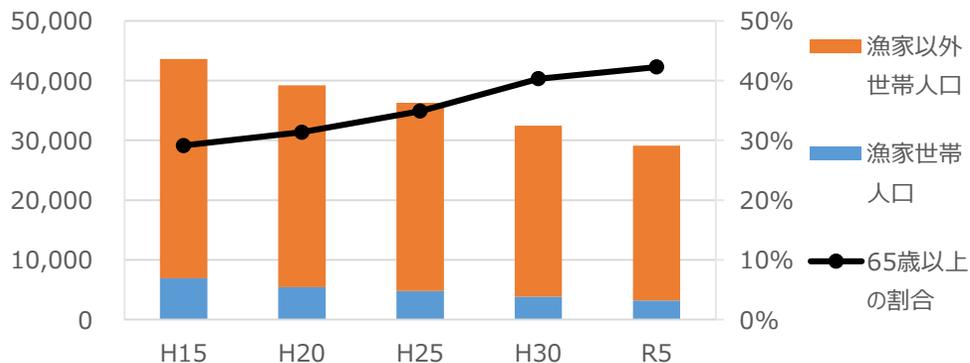
・ 水産業・漁村は多面的な機能を有している

- ①水産物の安定供給
- ②自然環境を保全する役割
- ③県民の生命・財産を保全する機能
- ④交流の場を提供する機能 等



・ 本県の漁村地域では、人口減少や高齢化が進行

香川県の漁港背後集落の人数（漁港背後集落の現状把握のための実態調査）



※漁港背後集落：当該漁港を日常的に利用する漁家が2戸以上ある集落

### ○漁業者等の取組み状況

- ・ 東讃、高松、小豆、中讃、西讃地区の5地区で浜の活力再生プラン、香川県全域の浜の活力再生広域浜プランを策定し、関連する国補事業を活用
- ・ 漁業者が関わる地域イベントが県内各地で開催（津田：わくわくフェスティバル、本島：本島さかな部等）

## 【課題】

- 人口減少や高齢化の進行により、漁村地域の活力低下が懸念
- 集落機能や生活基盤を維持していくためには、漁村のにぎわい創出が重要な課題



- ・ 豊かな自然や漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かし、雇用機会の確保や地域の所得向上を図る
- ・ 地域と多様に関わる関係人口を創出

## 【取組みの方向】

### (1)海業の推進

- ・ 漁業関係者による地域資源を活用した観光・交流事業の推進（漁港や漁業関連施設等を活用した渚泊、海鮮食堂、直売所等の整備）

### (2)多面的機能の維持・発揮

- ・ 漁村文化の継承、自然環境の保全、交流機会の提供等に資する活動の促進（体験学習、交流イベント、里海活動等）

### ※海業（うみぎょう）とは

漁村の人々が、海や漁村に関する地域資源の価値や魅力を活用して所得機会の増大等を図る取組



漁港の食堂  
（千葉県  
保田漁港）



漁業体験  
（大阪府  
田尻漁港）